

2024年度の主な実施項目と2025年度の目標・計画

大項目	小項目	2024年度の目標・計画	2024年度の主な実施項目	目標 (数値)	結果 (数値)	評価	2025年度の目標・計画
組織統治	CSRマネジメント	・実効のあるCSR推進会議の継続 ・意思決定プロセスの定期的確認と必要に応じた見直し	経営幹部への活動実績の報告 活動推進担当への全社活動内容の浸透 機関基準を改定を取締役会で決議（2月） 設備投資の経営会議審議案件の対象を見直し、経営会議決定事項の適正化と意思決定の迅速化を図った。			△	・実効のあるサステナビリティ活動の推進
	コーポレート・ガバナンス （内部統制）	・内部監査計画の完遂と是正の計画的推進	・計画：15部署 実行：10部署（5件は諸事情で2025年度に延期） 改善：15件を指摘した。処置済み：11件。			○	・内部監査計画の完遂と是正の計画的推進
		・東芝監査プログラム実施（RAP・J-SOX） ・内部統制再構築Pの継続	・RAP・改善事項1件で改善完了済 ・ベネシックス監査発見事項3件 完了済 ・内部統制再構築事項 5件 ・J-SOX：指摘事項なし ・税金同等物 実定実施5部門の報告書作成			○	・東芝監査プログラム実施（RAP・J-SOX） ・内部統制強化活動の継続的推進
	ステークホルダーとの対話	・TeamSurveyの実施、TeamSurveyフィードバックの実施	◆TEAMサーベイの実施 ・回答期間：12月3日～12月13日 ・結果公開 管理層向け：12/28～ 従業員向け：1/20～ ◆継続改善アクション：顧客トップと従業員の直接対話 計6回 129名出席			○	・TeamSurveyの実施、TeamSurveyフィードバックの実施
	人権	人権の尊重・差別の禁止	・人権教育の継続実施（採用時、転入転入時、人権週間、管理職研修時） ・入社時の導入教育：8回33名に実施 ・管理職研修および新任管理職教育：1回11名に実施			○	・人権教育の継続実施（採用時、転入転入時、人権週間、管理職研修時）
労働環境	雇用の安定	・高齢者活用施策の実施	・60歳定年後の嘱託再雇用実施16名			○	・高齢者活用施策の実施
	多様性の尊重	・障がい者雇用率（2.3％以上）の維持	・障がい者雇用率3.35％（2025年3月末時点）	2.3％以上	3.35％	○	・障がい者雇用率（2.5%以上）の維持
	多様な働き方の支援	・働き方改革への対応 ・当社に必要な業務知識に関する教育の推進 ・長時間労働の削減、ハイブリッド勤務の推進	・短時間勤務制度利用者：3名 ・育児休職制度利用者：2名			○	・働き方改革への対応 ・当社に必要な業務知識に関する教育の推進 ・長時間労働の削減、ハイブリッド勤務の推進
	人材育成	・若手社員の計画的な育成の推進 ・当社に必要な業務知識に関する教育の推進 ・中長期計画に基づく社内ローテーションの推進	◆教育委員会：2024年5月23日開催 ◆教育計画：2024年5月1日公開 ◆e-learning ・東芝グループ理念体系・行動基準教育及びサステナビリティ経営（5月）：504名 ・（TIS）環境教育（5月）：509名 ・東芝グループ安全衛生教育（8月）：503名 ・お客様満足向上及び技術者倫理教育（12月）：496名 ・安全文化診断実施 ・東芝研（東芝研究所）の認知（「読まれ書き込まれ防止」） ・安全VR教育実施 ・高リスクアセスメント確認表の規格化（9/1～ 10/7災害で全社展開） ◆統合MS内部監査員育成教育（EMS：20人／OHSMS：26人／QMS：24人）			○	・若手社員の計画的な育成の推進 ・当社に必要な業務知識に関する教育の推進 ・中長期計画に基づく社内ローテーションの推進
	従業員の安全と健康	・ISO45001 2年次再評価 1. 自主的安全活動の取組 ①重大災害再発防止の徹底 ②危険感受性および安全意識の向上 ③リスクアセスメントの継続的改善 2. 自主的健康活動に向けた支援 ①生活習慣改善への取り組み ②ストレスへの気づきと対処力 3. 防災体制の整備	■災害発生状況 ・不慮災害2件、通勤途上災害1件 ※うち特別安全管理職場指定1件 ■主な安全活動 ・A/T「読まれ書き込まれ防止」を共有する会 ・各種パトロール実施（3事業部相互パトロール、現地工事パトロール、（拠点）安全巡回） ・東芝グループ安全衛生教育（8月）：503名 ・安全巡回監査員ステッカーの全車両へ配布 ・安全文化診断実施 ・東芝研（東芝研究所）の認知（「読まれ書き込まれ防止」） ・安全VR教育実施 ・高リスクアセスメント確認表の規格化（9/1～ 10/7災害で全社展開） ■健康 ・健康支援ツール Pe Up運用開始（各種イベントとの開催） ・健康管理業務支援対象外拠点の管理体制整備 ■防災防災 ・各種訓練実施（防火防災訓練、災害対策本部立上訓練屋外消火栓訓練）			○	・ISO45001 1. 安全 ①安全健康文化の醸成 ②「労働災害＝事故が多い会社」イメージからの脱却 ③安全意識のモチベーションを高める 2. 健康 ①生活習慣改善の取り組み ②従業員の心と身体を健康づくりに向けた具体的対策 3. 防災 有事に備えた防災体制整備
環境	環境マネジメント強化	・環境汚染の予防（環境汚染物指針準拠率100％確保） ・コンプライアンス順守（現地確認による産業業者管理含む） ・統合MSの継続的改善 ・地域に根ざした環境活動取組の検討 ・30 by 30に向けた取り組み推進	・（拠点）事業所法令順守状況確認を9箇所、処理部託先の現地確認を19箇所実施 ・統合MS（環境）は改善策で「向上」の評価で改善継続 ・統合MS内部監査を実施 指摘事項 観察10件、推奨18件 ・環境汚染物指針準拠率100%の維持 ・地域清掃活動1回1回12回実施 ・ビオトップの継続拡充 ・ビオトップへの底土（調、トンボ）飛入回数 10回	環境汚染物 指針準拠率 100％	環境汚染物 指針準拠率 100％	○	・環境汚染の予防（環境汚染物指針準拠率100％確保） ・コンプライアンス順守（現地確認による産業業者管理含む） ・統合MSの継続的改善 ・地域に根ざした環境活動取組の検討 ・30 by 30に向けた取り組み推進
	環境に配慮した事業プロセス	・資源の有効活用：再資源化率83％以上 ・2030年度カーボンニュートラルに向けてのCO2 排出量削減	・資源の有効活用：再資源化率86.9％ ・2030年度カーボンニュートラルに向けてのCO2排出量削減 2023年度1490tに対し、2024年度：1308t 非化石電源導入により削減	再資源化率 83％以上	再資源化率 86.9％	○	・資源の有効活用：再資源化率90％以上 ・2030年度カーボンニュートラルに向けてのCO2 排出量削減（CO2排出量1125t）
	環境コミュニケーション	・サステナビリティ取組内容の社外HPでの公開（8月更新） ・統合MS社会貢献報告（ポスターセッションへの参加） ・マスメディアを通じた環境広告および広報の継続	・サステナビリティ活動公開 …… 社外HP公開（10月） ・プレスリリース…3通（主事業所リソース（パネル活用3社報道発表）			△	・サステナビリティ取組内容の社外HPでの公開（上期中更新） ・環境情報発表への出席 ・マスメディアを通じた環境広告および広報の継続
公正な事業実行	リスク・コンプライアンス	・年度リスク・コンプライアンス施策の立案と実行 ・CSR取組モニタリングの実施 ・リスク・コンプライアンス関連e-learning教育の実施	・リスク・コンプライアンス委員会を開催（定例：5月・12月） ・コンプライアンス職場モニタリング実施（12月・1月）・実施部門：37部門（参加率100%） ・「憲法」基礎教育実施（消防法、電波法、高圧ガス保安法、R1規制等）：117名 ◆e-learning ・東芝グループ理念体系・行動基準教育およびサステナビリティ経営（5月）：504名 ・人権およびいじめ防止と働き方に関する教育（6月）：509名 ・情報の適切な管理に関する教育および製品セキュリティ教育（10月）：496名 ・会計・外為コンプライアンス教育（8月）：496名 ・お客様満足向上教育および技術者倫理教育（12月）：496名 ・憲法教育（憲法リスク・下請法・輸出管理・電安法）（1月）：466名			○	・年度リスク・コンプライアンス施策の立案と実行 ・CSR取組モニタリングの実施 ・リスク・コンプライアンス関連e-learning教育の実施
	公正な競争・取引の徹底	・購買請求部門教育巡回実施：10部門	10部門の目標に対し、7部門の実施になった。未達品の改訂が見えていたため、その差額の確認もありスピードが緩くなかったが、25年度もその状況を見直し計画を練りたい			○	・購買請求部門教育巡回実施：7部門
	サプライチェーンでのCSR推進	・東芝グループ共通のサプライチェーンにおけるCSR推進策の実施（人権00契約の推進） ・東芝グループグリーン調達方針に基づく取引先への問合せと回答収集	グループ調達部門の方針に合わせ、タイムリーに情報伝達を実施し、計画通りの実行が完了した。来期も同様に進めていきたい。			○	・東芝グループ共通のサプライチェーンにおけるCSR推進策の実施（人権00契約の推進） ・東芝グループグリーン調達方針に基づく取引先への問合せと回答収集
	情報の保護・管理	・情報セキュリティ教育の実施 ・情報セキュリティ自主監査の実施 ・情報セキュリティ管理地域協会の実施 ・サーバ、社外ホームページのセキュリティ診断の実施 ・携帯型記憶媒体及びモバイル用パソコン細部の実施 ・ウイルス感染予防訓練の実施	・新入社員への情報セキュリティ教育を会議室とオンライン会議形式の組み合わせにて実施（33名、8回） ・情報セキュリティ管理・個人情報保護 自主監査を（11月）に実施し、問題なし。 ・毎月パソコンの更新を実施。問題なし ・携帯型記憶媒体およびiPadの更新を8月・2月に実施し問題なし。 ・社外ホームページのセキュリティ診断を毎月実施。 ・サーバのセキュリティ診断を毎月実施。 ・サーバ、社外ホームページのセキュリティ診断を毎月実施。 ・9月ウイルス感染予防訓練を実施。対象者476人中51人（10.7％）がクリックしてしまい、その後クワックした人を対象に11月教育を実施。全員受講済。1月ウイルス感染予防訓練を実施。対象者425人中71人（16.7％）がクリックしてしまい、その後クワックした人を対象に3月教育を実施。全員受講済。 ・社総スマホ上のアプリ管理：2024年5月より承認されたアプリ以外のインストールを行わない運用を開始。9月および2月に確認も実施し問題なし。 ・社総スマホ削減取り組み：個人利用の社総スマホを減らし不要な社総スマホを削減する取り組みを2024年度に計画・取り組みを開始。2025年度も継続取り組み。			○	・情報セキュリティ教育の実施 ・情報セキュリティ自主監査の実施 ・情報セキュリティ管理地域協会の実施 ・サーバ、社外ホームページのセキュリティ診断の実施 ・携帯型記憶媒体及びモバイル用パソコン細部の実施 ・ウイルス感染予防訓練の実施
	知的財産の保護	・戦略的特許の提出と特許権利化の推進	特許出願、権利維持を実施			○	・戦略的特許の提出と特許権利化の推進
お客様への対応 （消費者課題）	製品・サービスの品質向上と安全性の確保	・統合マネジメントシステムの継続的改善 ・「製品R」統合MS外部認証取直し	・統合MS外部認証の2年次定期ペライランス審査にて認証を維持 ・内部監査指摘事項の是正処置を年度内に完了 ・新規内部監査員資格23名			○	・統合マネジメントシステムの継続的改善 ・統合MS外部認証更新 ・（宮城）統合MS外部認証取得準備
	製品事故・不具合発生時の対応	・損失費の把握及び改善策の実施	・損失費の全部門実績把握（事故費・仕損費）			○	・損失費の把握及び改善策の実施
	お客様満足の向上	・顧客とのコミュニケーションの向上 ・顧客満足度向上策の検討及び実施	・顧客詳細長財を維持 ・外部表彰：1件			○	・顧客とのコミュニケーションの向上 ・顧客満足度向上策の検討及び実施
コミュニティへの参加およびコミュニティの発展	社会貢献活動	・東芝グループボランティアデイズに対応した施策の実施 ・地域清掃活動	・一斉55活動日に工場周辺の清掃を実施（雨天中止時以外は毎月実施） ・施設工場周辺社会貢献を継続 ・東芝グループボランティアデイズ活動（12月） ○ハットボトルキャップ総重量38.6kg、使用済み切手紙重量394.5gを収集寄贈 ○集約にて東芝復興支援メニューを提供			○	・東芝グループボランティアデイズに対応した施策の実施 ・地域清掃活動
	地域社会との関わり	・近隣住民との交流継続（年1回） ・地域主催行事への協力（年2回） ・地域団体への参加（防火、交通安全、安全衛生等）	・社会福祉協議会への賛助会費（7月） ・横浜主催イベント（こども「エコ活」大作戦！2024）事業に協賛 ・令和7年（第18回）企業会員の皆様と町内会役員の懇談会に出席（2月）			△	・近隣住民との交流継続（年1回） ・地域主催行事への協力（年3回） ・地域団体への参加（防火、交通安全、安全衛生等）